Japan Evangelical Theological Society

日本福音主義神学会

J・E・T・S・NEWS Vol.42

発行所／460-0022　愛知県名古屋市中区金山２丁目1-3　東海聖書神学塾内
学会サイト・アクセス　http://evangelical-theology.jp

教会から生まれ、教会を建て上げる神学を

西部部会理事長　坂井 純人

キリスト教神学の歴史を紐解くと、主題ごとに、両極端や対照的な立場と、その中間帯に属する立場が点在していることに気付きます。私達の時代は、教会の世俗化、内向化いずれの危険にも瀕しています。教会が生み出した神学が、教会という母体を離れて、世との接触点の中に取り込まれ、埋没することもあるし（教会からの分離と多元主義化）、逆に、世との接触において、逃避すると、地の塩、世の光としての力を発揮できずに、福音の光を自ら、遮断することになるでしょう（世からの孤立）。キリストとの交わりから湧き出る命の力に生かされ、キリストの光に照らされながら、この光を世に向かって明瞭に示す方向指示器としての役割を果たす、キリスト教会と神学者は幸いです。

キリストは教会の頭であると共に、教会の外にも仲保者的王権をもって統治しておられる王です。この真の唯一の神の民の頭、王であるキリストに堅く結び付いた神学は、この御方のからだを建て上げると共に、教会を中核にこの世界全体に、神の国（恵みの支配）の到来を宣言し、王の祝宴の喜びに生きる神学です。キリストに由来し（良いぶどうの木）、キリストの体なる教会（キリストに接ぎ木された枝）から生み出された信仰告白を基に、教会から信頼され、奉仕者と献身者を送り出され、送り返せる神学教育（良い実を結ぶ）を目指したいと願います。また、教会と神の栄光を現わす舞台である世への唯一の力ある福音を語り、遣わされることで、教会形成と世に遣わされる信仰者を生み出す、包括的な宣教的神学の営みでありたいと願います。

三位一体の神御自身が、神学の対象であり、同時に、信仰告白者の内に働いておられます。この御方が、神の御国を打ち立てる為に用いられる、教会に仕える神学こそ、真の神学の名に値する営みと言えるでしょう。神学教育機関や継続教育を支える教会の存立は、神学の健全さと有意義性を試す試金石にもなります。教会の閉塞状況が呻かれている時は、教会を生かす神学の健全さと神学に携わる者が福音そのものに生かされているかも問われています。キリスト教神学が本当にキリストに結び付いて、キリスト御自身の御業としての福音宣教に仕えるなら、必ずや、パウロと共に、「私たちの主イエスが再び来られるとき、御前で私たちの望み、喜び、誇りの冠となるのは、いったい誰でしょうか。あなたがたではありませんか。あなたがたこそ、私たちの栄光であり、喜びなのです」（Ⅰテサロニケ２：19～20）と今も終わりの時にも主の御前に＜教会と共に＞立つことが許されるのです。2020年には、全国研究会議が開催予定です。教会と共に生き、教会を霊的に元気にする神学の成熟が、三位一体の御神の祝福と主の教会に仕える全ての熱意の内に、追い求められる好機として用いられますように、切に祈り、備えたいと願っています。

（神戸神学館教師、神戸改革派神学校講師、
日本キリスト改革長老教会東須磨教会牧師）

◆各地区部会報告◆

東部部会報告

1. 2018年度理事会構成

◎役員理事：理事長　関野祐二氏
書　記　三浦譲氏
会　計　岩上敬人氏
◎学会誌：　平塚治樹氏
◎部門理事：聖書神学／平塚治樹氏、大坂太郎氏、
歴史神学／丸山悟司氏、組織神学／岡村直樹氏、
実践神学／福井誠氏、渡辺聡氏

2. 理事会　4回：2018年7月13日、10月9日、12月10日、
2019年2月25日

3. 春期講演会：2018年5月14日（月）、
OCC8階チャペル 13:30～17:00、参加者95名

テーマ：「創世記1章は何を語っているのか？
ー機能的コスモロジーの再発見ー」
講演者：ジョン・H・ウォルトン氏（ホイートン大学教授）、
通　訳：落合弘倫氏

4. 会員移動

＜入会＞（正会員）村上幹夫氏
（東洋ローア・キリスト伝道教会・前橋伝道所牧師）
三宅規之氏（日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団、
めぐみ福音キリスト教会牧師）
（準会員）広瀬由佳氏
（宣教教会教会員、聖契神学校在学中）
＜退会＞　北野更耕一氏、太田和功一氏
（2018年3月現在：
正会員：137名，準会員16名，賛助会員12団体）

5. 審議事項

◎ 2019年度の年間テーマは「終末論」とし、春期研究会は「キリスト者の希望」、秋期研究会は「ヨハネの黙示録」を主題とする。2001年に9・11テロが勃発、混乱と不安の世紀を生きつつ、「御国が来ますように」と祈り続ける中、近年、「神の国」や「希望」というテーマの出版物が目立つようになり、終末論を取り扱うべき時が満ちつつあると思われる。
◎ 2019年度理事会の件を審議し、承認した。
役員会：関野祐二氏（理事長）、野村天路氏（書記）、
岩上敬人氏（会計）
聖書神学：山﨑ランサム和彦氏、
歴史神学：丸山悟司氏、三宅規之氏、組織神学：岡村直樹氏、
実践神学：渡辺聡氏、
学会誌：平塚治樹氏、山﨑ランサム和彦氏
◎規約改正の件を審議し承認した。
全国理事会からの承認依頼事項（事務所所在地の件：現行の規約第11条に文言を付加する件、全国会計の会計監査選任の件）

中部部会報告

1. 2018年度理事会

◎役員理事：理事長　檀原久由氏（全国書記）
書　記　関昌宏氏
会　計　池上泉氏
◎理事：　学会誌／大庭貴宣氏（全国学会誌）
広報／下山孝佳氏、会計監査／河野勇一氏

2. 研究会・講演会

◎中部部会理事会・総会・春季公開講演会
2018年5月14日（月）、キリスト聖書神学（CBI）
テーマ：「物語る伝道『1年で12回聖書を読む会』」
講　師：大頭眞一氏
（日本イエス・キリスト教団明野キリスト教会牧師）
テーマ：「1年で12回聖書を読む会」のテキストを用いた実践
講　師：石田聖実氏（日本基督教団鈴鹿教会牧師、
名古屋学院大学・金城学院高校非常勤講師）
◎秋季研究発表会　2018年11月12日（月）、CBI
テーマ：「新改訳第3版から2017へ（より専門的に）」
講　師：渡部睦夫氏（同盟福音・稲沢キリスト教会牧師）

3. 中部部会報19号の発行

檀原久由氏「巻頭言」、
大頭眞一氏「1年で12回聖書を読む会のテキストを用いた伝道」、
渡辺睦夫氏
「新改訳第3（2）版から新改訳2017へ（より専門的）」、
松浦剛氏「聖書協会共同訳聖書を読んで」

4. 会員移動

＜退会＞　鈴木健之氏、佐々木保雄氏
（2019年4月現在：正会員21名、賛助会員1団体）

5.2019年度の理事会と活動案

◎理事会
檀原久由氏（理事長）、関昌宏氏（書記）、池上泉氏（会計）、
大庭貴宣氏（学会誌）、東正明氏（広報）、下山孝佳氏（会計監査）
◎ 2019年5月21日（火）秋季公開講演会、
金山キリスト教会、参加者50名
講　師：安黒務氏
テーマ：「福音主義神学の視点から『デスペンセーション主義の“聖書解釈法・教会論・終末論”』を分析・評価する」
◎ 2019年11月18日（月）秋季発表会、東海聖書神学塾
講　師：片岡由明氏夫妻（日本長老、鈴鹿キリスト教会牧師）

西部部会報告

1.2018年度理事会

◎役員理事：理事長　瀧浦　滋氏
書　記　岸本大樹氏
会　計　石崎伸二氏（全国会計）
◎理事：大田裕作氏、金井由嗣氏、鎌野直人氏、坂井純人氏、
杉貴生氏、袴田康裕氏、正木牧人氏、南野浩則氏、
吉田隆氏

2. 研究会・講演会

◎春季研究会議：4月16日(月)　関西聖書学院
テーマ：「身体性の神学」
講　師：吉田隆氏
分科会：「病・癒し・死」福野正和氏
（日本福音教会RCI主管牧師、南大阪福音教会牧師）
「環境」金井由嗣氏
「富みと経済」坂井純人氏
コーディネーター：大田裕作氏、高木実氏、南野浩則氏
◎秋期研究会議：11月19日（月）神戸ルーテル神学校
テーマ：「今日の教会に問う
プロテスタントのイエスの母マリア理解」
講　師：橋本昭夫氏（神戸ルーテル神学校教授）
応　答：大庭貴宣氏（キリスト聖書神学校准教授・学生部長）、
瀧浦滋氏、南野浩則氏
コーディネーター：鎌野直人氏、坂井純人氏、正木牧人氏

3. 報告・審議事項

全国理事会において、東部部会の総会承認を見込んでの規約改正の承認報告がなされた。それらは、会計監査担当理事の件、事務所の所在地の件、会員資格審査の件であった。坂井氏に代り学会誌担当者を一人選任する。

4.2019年度の理事会

坂井純人氏（理事長）、岸本大樹氏（書記）、石崎伸二氏（会計）、
理事：大田裕作氏、金井由嗣氏、鎌野直人氏、杉貴生氏、
瀧浦滋氏、袴田康裕氏、正木牧人氏、南野浩則氏
吉田隆氏

5.2020年開催予定の全国研究会議の審議

日　程：2020年11月9日（月）～11日（水）

会　場：大阪クリスチャンセンター
テーマ：「キリスト者の成熟：教会、社会、文化」
コーディネーター：鎌野直人氏、岸本大樹氏、正木牧人氏、吉田隆氏
＜入会者＞佐野剛史氏（元ハーベストタイム・スタッフ）

学会誌報告

1.2018年度学会誌編集委員：委員長／坂井純人氏、校正／平塚治樹氏、山崎ランサム和彦氏、書記／大庭貴宣氏、会計／平塚治樹氏、広告／南野浩則氏、坂井純人氏
2.49号「福音の理解―義認をめぐって」の編集報告・会計報告があった。
3.2019年発行予定の50号について
テーマ：「宣教」。
2020年予定の全国研究会議との連携を予測しての選定となった。
執筆予定者：坂井純人氏「巻頭言」
吉川直美氏（聖契神学校）「多文化社会の宣教」
篠原氏（東京基督教大学）「宣教の歴史」
杉貴生氏（福音聖書神学校）「宣教的教会」
ステファン・デ・ヴァット氏（神戸改革派神学校）「支援（ディアコニィー）の神学」
高見沢氏（韓国トーチ・トリニティー神学校）「日韓の宣教の歴史」
投稿希望論文：真鍋献一氏（予定・準備中）
4.投稿希望論文の掲載ルールに関しては、所属部会の推薦者を（2名）つけることを条件に、査読を経て、判断する。

（注意事項）
学会誌「福音主義神学」50号における会員刊行文献目録申請のお願い：
会員刊行文献目録申請期間は、10月末となっている。前号にある折り込みの申請用紙に記入の上、以下の住所に郵送して下さい。
〒272-0805　千葉県市川市大野町4-2831-10　平塚治樹

◆全国理事会及び全国研究会議準備委員会議事録◆

日　時：2019年6月3日（月）11:00～16:00
場　所：名古屋国鉄会館会議室7階ひかり
出席者：東部部会　関野祐二氏、平塚治樹氏
中部部会　檀原久由氏
西部部会　瀧浦滋氏、石崎伸二氏、
坂井純人氏（編集委員長）　以下6名
鎌野直人氏が全国研究会議の説明のため、理事会終了後に加わる。

I. 全国理事会
御言葉と祈り：全国理事長（関野）ヨハネ7:15～18
【報告事項】
1.各部会報告（2018年度活動報告、総会報告、会計報告等）を了承した
・東部（関野）：6月10日に東部部会の総会予定なので、暫定的な報告となる。理事会構成が変わる予定。会員（2019年3月現在）：正会員137名、準会員16名、賛助会員12団体
・中部（檀原）：5月21日に総会があり、総会報告書が提出され、了承された。
・西部（瀧浦）：6月10日に西部部会の総会予定なので、暫定的な報告となる。新理事会の構成や九州地区と沖縄地区の様子が報告され、2020年の全国研究会議の日程の訂正があった。
・全国会計の報告があった。
・JETSニュース報告の報告があった。

2.学会誌編集委員会報告・会計報告を了承した
・50号についての説明があった。
・2019年度の役割分担：編集委員長　坂井純人氏、校正：平塚治樹氏、山崎ランサム和彦氏、書記：大庭貴宣氏、会計：平塚治樹氏、広告：南野浩則氏、坂井純人氏
・会計報告（平塚）：49号は原稿枚数が少なかったことと、プリントバンクに印刷依頼をした結果、費用が低くなった。繰越金が多くなったので50号に関する全国会計からの支出額を80万円とした。会員刊行文献目録の作成が遅れた原因は、申請書が冊子に同封してあったため、気が付かなかった会員が多かったため。JETSニュースに注意喚起の文を載せるスペースを確保する必要がある。
・学会誌の在庫管理が明確でないので、平塚が5冊をバックナンバー用に保存することとする。各部会に配布された学会誌に関しては、販売も含め、各部会の責任で在庫処理をする。

【審議事項】
1.学会誌会計の2019年度予算案を審議し、了承した。
2.2019年度全国会計予算案を審議し、了承した。18年度の会計監査は暫定的に出席者の坂井に委任し、19年度の会計監査については東部部会の議を経て会計監査担当理事を置くことにする。
3.2019年度の各部会の活動計画案の説明があり、了承した。中部部会は総会が終了したので総会資料を受付けた。東部部会と西部部会の総会が済んでいないので、活動案・会計案の説明を受けた。
4.規約改正について下記の事項について審議し、了承した。
(1)事務所の所在の件：東部部会の総会での確認を条件として、第11条に以下の文面を加える：「第2条の各部会の事務所の所在地に関しては、毎年全国理事会で全国書記に届け出ることで足りるものとする。」
(2)会計監査：第8条2項に「監査担当理事」を付加する。西部部会と中部部会では規則改正案は承認済みなので、東部部会の議を経て改訂する。
(3)退会規定：入会規定は細則にあるが、退会規定はない。細則改正なので各部会の理事会の承認を条件に、退会規定を設ける。細則第2項の表題を「入退会」に変更し、「退会を希望する者は各部会に申し出る」を加える。
(4)入会申込書の書式を変更する。
・準会員の項目にチェック欄を設け、「神学校卒業後、正会員となる」を加える。
・入会申込書の記述とHP上の内容は古いのでアップデートする。申込書に規約全文と細則を載せる。
・住所に関しては、2条に則して3部会併記とし、11条に則して毎年理事会でアップデートすることとする。
(5)三位一体条項について：西部部会から第3条の規約変更の提案理由と変更3案が提示されたので、意見交換をした。東部理事会では話し合いが終わっていないので、東部部会の結果を得てから来年の全国理事会で再度話し合うことにする。

5.会費未納者への対応について話し合った。

6.安黒氏からHP管理の方針案が出されたので話し合った。理事会では現在の方向性を維持し、HPのトップページを見やすくしてもらうことと、パスワードの簡略化を要望する。HP上にバックナンバー40号以降を載せるように伝える。

・次回の全国理事会予定：
当初は2020年6月1日(月)と決めたが、諸事情により、日程が2020年6月8日（月）11時から16時に変更になった。会場は名古屋国鉄会館。

【全国研究会議について】
・全国理事会が終了後、鎌野氏が加わり、「2020　JETS　全国研究会議　コンセプト」の説明があった。テーマは「キリスト者の成熟：教会、社会、文化」。キリスト者自身の人格について扱う時がなかったので、今回はキリスト者の成熟に焦点を置きたい。日程は2020年11月9日(月)午後から11日(水)午前中とする。
・講演は3つとなる。10日の午後は分科会を予定している。研究会議での奉仕者は各部会にお願いするので引き受けて欲しいとの要望があった。その後、意見交換の時を持った。
・研究会議準備費を20万円から30万円へ増額して欲しいとの要望があった。

日本福音主義神学会　全国　会計

2018年度決算報告　および　2019予算

収入の部			
項　目	2018年度予算	2018年度決算	2019年度予算
東部分担金	360,000	360,000	360,000
中部分担金	70,000	70,000	70,000
西部分担金	400,000	400,000	400,000
学会誌売上	50,000	86,002	50,000
広告収入	150,000	125,000	150,000
献　金	0	0	0
雑収入	0	0	0
基金から繰入	0	0	200,000
前年度繰越	1,048,326	1,048,326	1,062,173
合　計	2,078,326	2,089,328	2,292,173

総　計		現在額	
項　目	金　額	項　目	金　額
出版基金	1,208,421	郵便振替	2,470,594
全国研究会議基金	200,000	現　金	0
次年度繰越	1,062,173		
合　計	2,470,594	合　計	2,470,594

支出の部			
項　目	2018年度予算	2018年度決算	2019年度予算
学会誌出版費	900,000	900,000	800,000
全国理事会費	150,000	109,487	150,000
事務通信費	10,000	432	1,000
ニュース発行費	20,000	18,036	20,000
研究助成費	0	0	0
全国研究会議費	0	0	300,000
名簿作成費	0	0	0
基金へ繰出	0	0	0
雑費・予備費	998,326	0	1,021,173
次年度繰越	0	1,062,173	0
合　計	2,078,326	2,090,128	2,292,173

日本福音主義神学会の活動のさらなる発展のために、献金をお願いいたします。
郵便振替口座 01140-6-32221「日本福音主義神学会」

日本福音主義神学会ニュース
2019年9月1日発行

発　行　日本福音主義神学会
編　集　檀原久由
印　刷　(株) プレイズ出版